

「やればできる」を実感する学
校づくり

桂川小学校校長 薄井 純一

4月6日(月)より、令和8年度の桂川小学校の教育活動がスタートしました。(全校児童508名でのスタートです。)

本校では、これまでも大切にしてきた合言葉「やればできる桂小キッズ」のもと、子ども一人一人が自分の成長を実感できる学校づくりを進めていきます。令和8年度学校教育目標「やればできるたくましい児童の育成―自ら学びつながりやり抜く―」の実現に向け、特に次の3つに取り組みます。

一つは、「伸びを実感する授業づくり」です。これまでの「分かる」授業に加え、子どもが「できるようになった」「前より伸びた」と実感できる授業を目指します。日々の学習の中で、自分の成長に気付くことが学ぶ意欲の向上につながります。

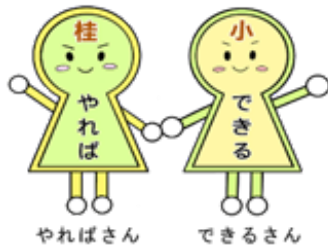
二つは、「やればできる心の育成」です。結果だけでなく、努力や挑戦する姿を大切に、子どもたちのよさを認めます。友だちと関わり合いながら励まし合うことで、自己肯定感や思いやりの心を育てます。

三つは、「学びを支える生活づくり」

です。あいさつや整理整頓、基本的な生活習慣を整えることは、安心して学ぶための土台となります。学校全体で生活のリズムを整え、落ち着いた環境の中で学びを深めます。

また、本校は大規模校の強みを生かし、「一人で頑張らない、みんなが育てる」ことを大切にします。教職員が連携し、子ども一人一人の状況に合わせて成長できる学校づくりを進めてまいります。子どもたちが「学校が楽しい」「自分は成長している」と実感できるように、職員一同、力を合わせて取り組んでまいります。

保護者の皆様、地域の皆様、関係機関の皆様におかれましては、本年度も本校教育活動へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



「未来に向かって舵取りをする
児童の育成」

桂川東小学校校長 岡本 一郎

令和8年度、東小学校は新一年生九名を加え、九九名でスタートしました。令和8年度の学校教育目標は、「未来へ向かって舵取りをする児童の育成」としました。「未来」とは、「予測困難と言われる未来」を指しています。これからの予測困難な時代を、しっかりと舵取りをしながら生き抜く力を持った児童の育成を目指します。

そこで三つの目指す生徒像を設定しました。

「主体的に考え行動する児童」

それは、指示待ちではなく、目的やゴールを自ら設定し、責任を持って課題に取り組む姿勢のことです。

周囲に流されず自ら判断し、失敗を恐れず前向きに挑戦する行動力を持った児童を育成したいと考えます。

「豊かな心を持つ児童」

他人への思いやりや物事に感動する心が必要です。そして正義感を持ち、日常に喜びや感謝を見出せる心や、社会で共存していくうえで必要

な、温かい心を持った児童の育成を目指します。

「探究心を持つ児童」

「探究心」とは、周囲の物事に対して「なぜ?」「どうして?」と疑問を持ち、その本質を理解しようと自ら調べ、深掘りする心のことです。その探究心を持って遊びや学習を通して自発的・積極的に学ぼうとする児童を育成します。

本年度も子どもたちの安心安全を担保する学校運営を致します。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、今後とも本校教育活動に対し、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

桂川東小学校 学校教育目標

未来へ向かって舵取りをする児童の育成

- 主体的に考え行動する児童
- 豊かな心を持つ児童
- 探究心を持つ児童

